

東海経済レポート

（2019年11月）

～景気は全体として底堅さを維持するも、企業部門に減速感～

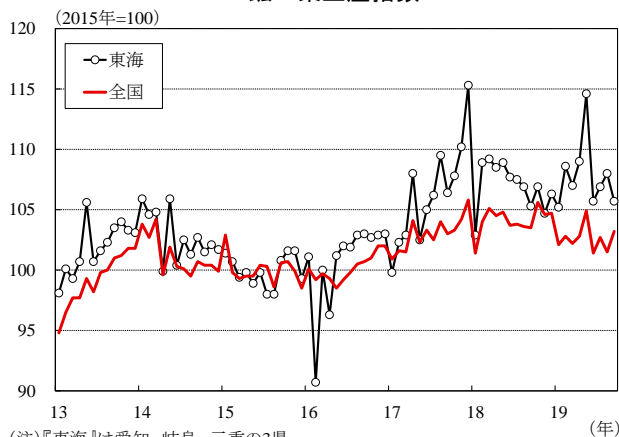
【足元の経済情勢】

- ◇ 東海経済は全体として底堅さは維持しているものの、企業部門に減速が見られる。企業部門は、輸出が弱含みとなっているうえ、生産も頭打ち気味であり、設備投資の先行指標となる金属工作機械の受注額も前年比減少が続いている。家計部門では、雇用環境は引き続き良好な状況を維持しており、個人消費は総じて底堅く推移している。
- ▶ 生産は、9月の鉱工業生産指数が前月比▲2.1%と、3ヵ月ぶりに減少した。業種別では、電気機械や生産用機械が増産となったものの、当地域主力の輸送機械が3ヵ月ぶりに減産となったほか、電子部品・デバイス工業も2ヵ月ぶりに減産となった。
- ▶ 金属工作機械の受注額は、9月の当地区主要8社の国内受注額が前年比▲39.2%と10ヵ月連続で減少した。一般機械工業からの受注が11ヵ月連続で減少したほか、自動車工業からの受注も10ヵ月連続のマイナスとなった。国内受注額の約8割を占める両業種をはじめ、受注状況に改善の兆しは見られない。
- ▶ 輸出額（円ベース）は、10月に前年比▲4.0%と3ヵ月連続で減少した。EU向けは2ヵ月ぶりに増加となったものの、中国向け（8ヵ月連続）や他のアジア向け（6ヵ月連続）、米国向け（3ヵ月連続）など、総じて減少となった。品目別でも、自動車、自動車部品をはじめ、主要品目は総じて前年比マイナスとなった。
- ▶ 9月の有効求人倍率は、愛知、岐阜、三重、静岡の4県揃って低下した。各県共に2019年春頃をピークとして低下基調に転じており、9月は愛知県が1.87倍と2017年10月と同水準になるなど、各県共に2017年後半の水準域に低下している。
- ▶ 個人消費関連では、消費増税前の駆け込み需要の影響で9月の小売主要3業態の販売額は前年比+6.0%と大きく増加した。業態別ではスーパーが同+6.4%、百貨店も同+24.5%と大きく伸びた一方、コンビニは同▲1.4%と減少となった。9月の新車販売台数は同+12.8%と、3ヵ月連続で増加した。
- ▶ 住宅着工戸数は、9月に年率換算8.7万戸、前年比▲6.4%と2ヵ月連続で減少となった。分譲マンションは同+34.5%と5ヵ月連続でプラスを維持したものの、貸家が同▲20.5%と4ヵ月連続マイナスとなり全体を下押しした。

【生産①】

9月の鉱工業生産指数は前月比▲2.1%と、3ヵ月ぶりの低下。

鉱工業生産指数



【生産②】

電気機械は前月比増産となったものの、輸送機械や電子部品・デバイスが減産となった。

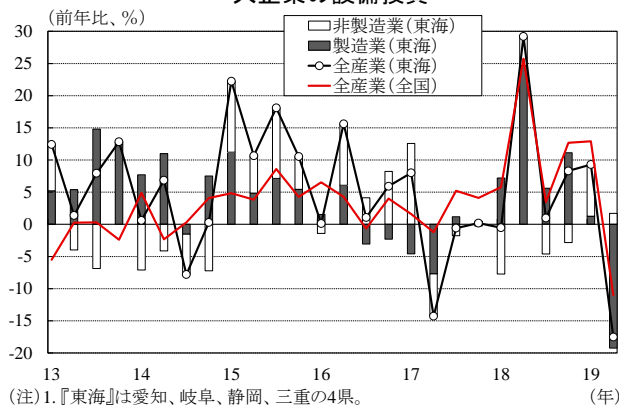
業種別の鉱工業生産(東海)



【設備投資】

4-6月期の大企業の設備投資は前年比▲17.5%と、前年の反動もあり5四半期ぶりの減少。

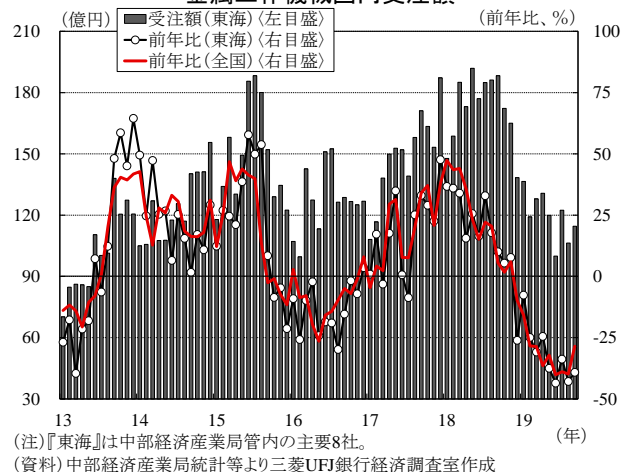
大企業の設備投資



【金属工作機械受注(国内)】

金属工作機械の国内受注額(当地区内の主要8社)は9月に前年比▲39.2%と、10ヵ月連続の減少。

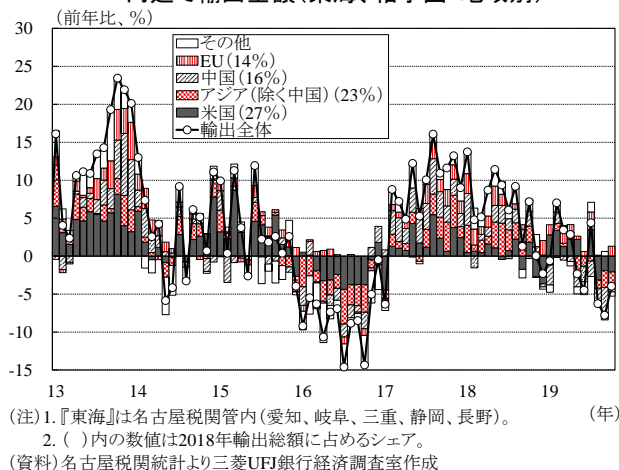
金属工作機械国内受注額



【輸出】

10月の輸出額(円ベース)は前年比▲4.0%と3ヵ月連続で減少。EUを除く主要国・地域向けが減少。

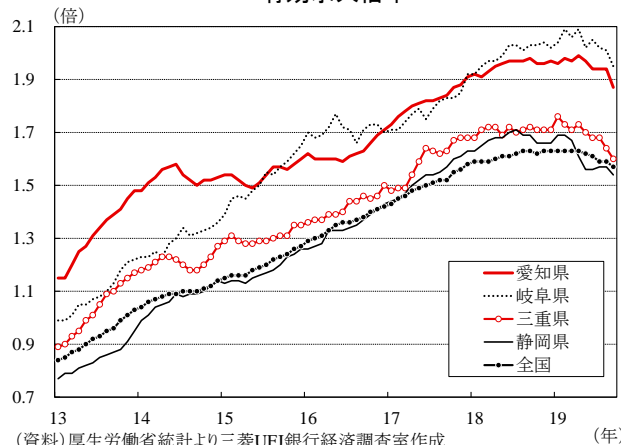
円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)



【雇用】

9月の有効求人倍率は、4県が揃って低下となった。愛知県は1.87倍と2017年10月の水準まで低下。

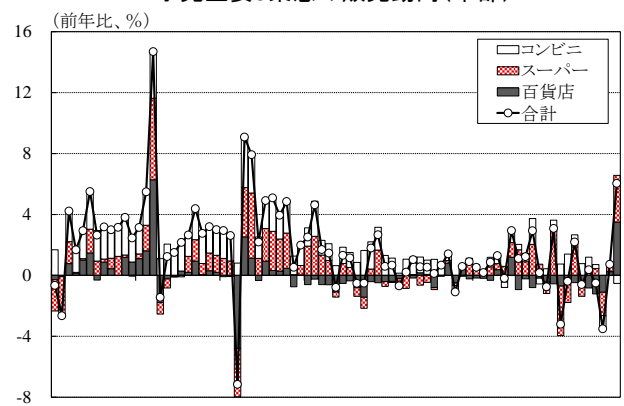
有効求人倍率



【個人消費】

9月の小売主要3業態の販売額は前年比+6.0%と、消費増税前の駆け込み需要の影響で大幅に増加。

小売主要3業態の販売動向(中部)

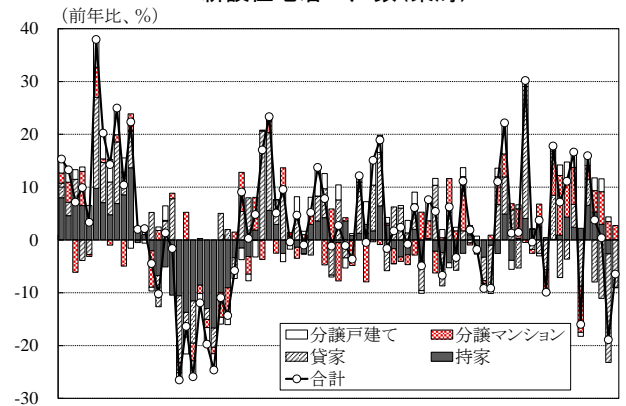


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【住宅投資】

9月の住宅着工戸数は年率換算8.7万戸、前年比▲6.4%減。貸家の減少が全体を下押し。

新設住宅着工戸数(東海)

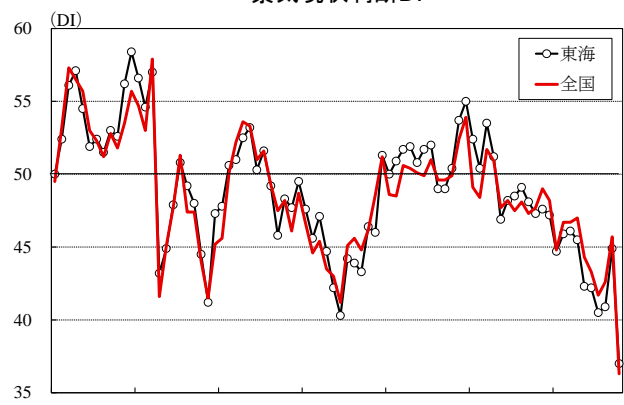


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)国土交通省東海より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【景気ウォッチャー調査】

10月の現状判断DIは37.0と、消費増税の影響で大幅に低下。

景気現状判断DI

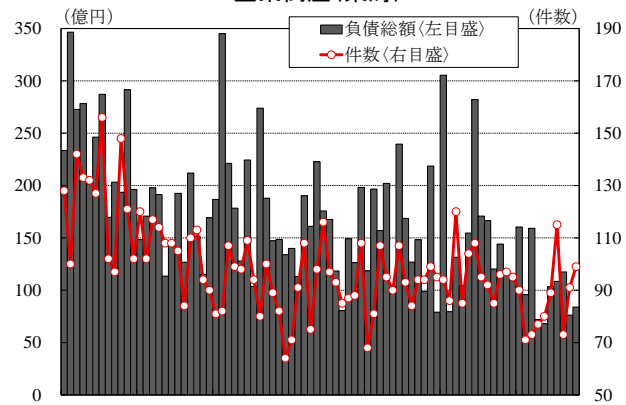


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。
(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【倒産件数】

10月の企業倒産件数は99件で、前年比+3.1%の増加。負債総額は83億円で、同▲41.8%の減少。

企業倒産(東海)

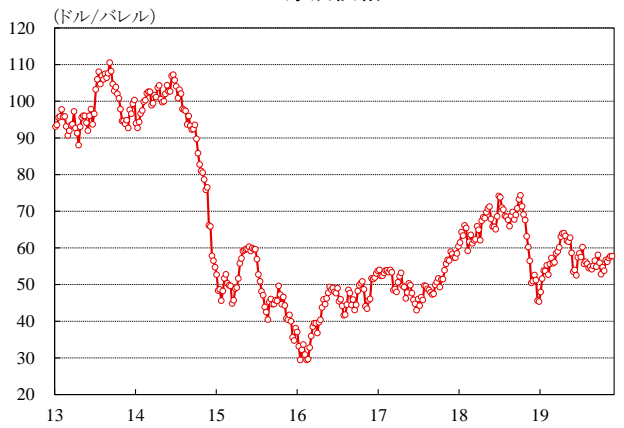


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【原油価格】

WTI先物は、中国経済減速等の懸念材料と産油国の需給調整期待が交錯し、57ドル前後で一進一退。

原油価格

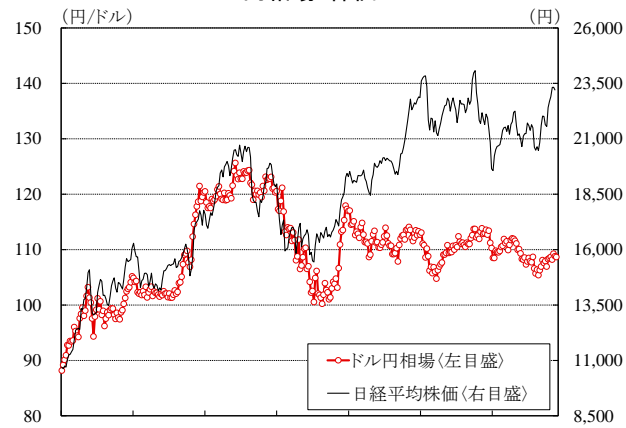


(注)『原油価格』はWTI先物。
(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

【円相場・株価】

為替市場は、米国の利下げ打ち止め姿勢もあり円安方向の動きが継続。本邦株価も連動して上昇。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱 UFJ 銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。